



Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会

白書分科会（第25回）および
各作業班（ビジョン、技術、周波数）合同会合

日時：令和5年10月24日（火）15:00～17:00

場所：ウェブ開催

- ① 白書分科会の活動全体に係るご報告：中村主査 …5分
- ② ビジョン作業班報告：小西リーダー（永田福リーダー、事務局） …5分
 - ②-1 WAKUWAKU2030からの報告：事務局 …10分
- ③ 技術作業班報告及びアカデミアとの連携促進：作本リーダー、下西福リーダー …20分
- ④ 周波数作業班：本多リーダー …20分
- ⑤ その他、事務連絡等：事務局 …5分
(各項目質疑応答を含みます)

※白書分科会終了後、周波数作業班の会議をAdhoc開催

WAKUWAKU2030への 今後の参加について

Beyond5G推進コンソーシアム
白書分科会 ビジョン作業班

2023年10月24日

- WAKUWAKU2030第1回の内容:事務局資料を参照のこと
- 小西の認識は、「白書2.0版の内容を変更するほどの内容は無かった」
しかし、エディターの皆さんでお気づきの点があれば修正の準備をお願いしたい
- WAKUWAKU2030第2回は12月に開催予定
 - ✓ 登壇者が所属される業界の担当エディター様には、パネリストとして参加願いたい
 - ✓ どの業界かについては、登壇者が決まり次第、事務局より連絡があるので、注視願いたい



Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会

WAKUWAKU2030 第1回ワークショップ報告

Beyond5G推進コンソーシアム事務局
(NTTデータ経営研究所)

【有識者】

- 岩浪剛太 株式会社インフォシティ 代表取締役/
第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）アプリケーション委員会 委員長
- 金田 泰昌 東京都立産業技術研究センター 研究開発本部 情報システム技術部 通信技術グループ グループ長
- 日下 光 一般社団法人 Govtech協会 代表理事
- 高野 雅晴 株式会社ビットメディア 代表取締役社長/
第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）アプリケーション委員会 利用シーンWG 主査
- 水船 慎介 TIS株式会社 ビジネスイノベーションユニット ストラテジー & イノベーションコンサルティング部 シニアマネージャー

【Beyond5G推進コンソーシアム白書分科会ビジョン作業班】

- 小西 聡（ビジョン作業班リーダー） 株式会社KDDI総合研究所
- 内野 徹 クアルコムジャパン株式会社
- 栗田 大輔 株式会社NTTドコモ
- 小崎 成治 三菱電機株式会社
- 朱 厚道 華為技術日本株式会社

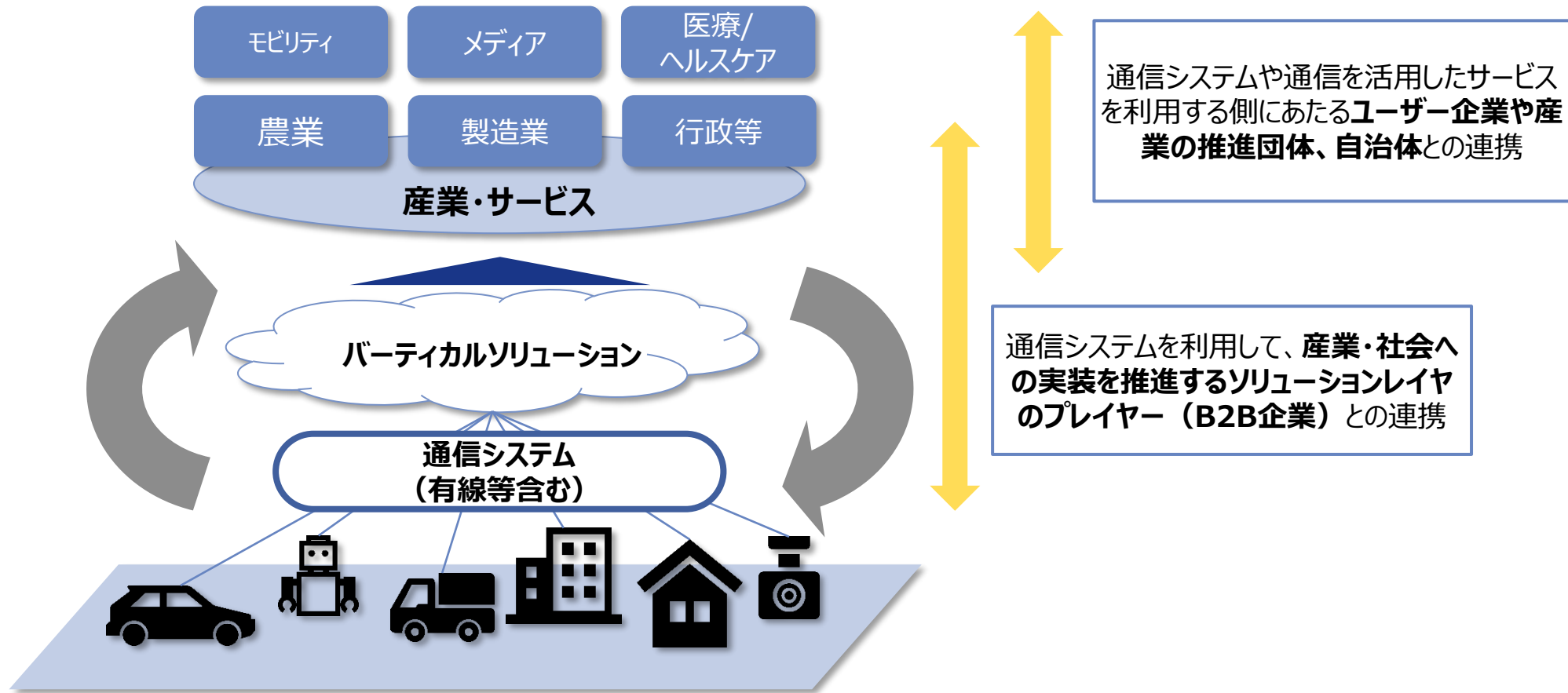
【オブザーバー】

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室

【事務局】

株式会社NTTデータ経営研究所（司会進行）

- 最終的な利用者にあたる**ユーザー企業**や通信を機能として活用し、産業向けにサービスやソリューションを展開する**B2Bのプレイヤーとの連携を推進**する



通信とユーザー企業、サービス等の非通信事業者との架け橋となる役割を担い、一社ではでも思いつかないようなビジネスアイデアの発想やビジネス機会を創り出していく

- DXやICTの導入やBeyond5Gを含む通信技術の適用が期待される産業分野を選定し、**当該産業の今後の飛躍のために求められる社会実装プロジェクト案（5つ以上）**を策定する
- B5GPCホワイトペーパーで挙げられている各産業の将来的なテーマや将来像をインプット※にプロジェクト案を作りあげていく
※あくまでインプットであり、プロジェクト案はホワイトペーパーに掲載されているものに限らない

医療

社会実装プロジェクトのテーマ案
(B5GPC白書より)

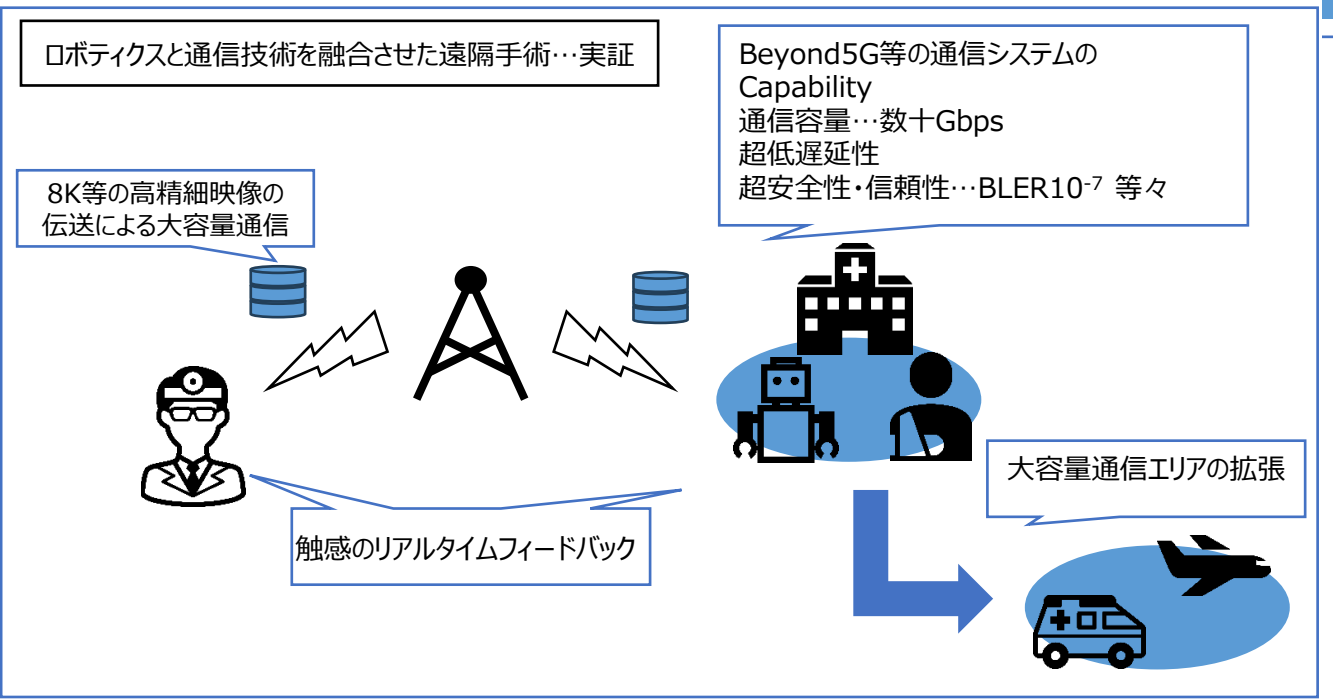
- ・ 知覚機能の補助及び再現
- ・ 接触機会低減及び感染状況把握
- ・ 新薬開発
- ・ サイバー空間における医療データベースの構築
- ・ 遠隔手術
- ・ AI 遠隔診断
- ・ リアルタイム健康管理
- ・ 低侵襲治療及び患部直接治療

社会実装に向けて求められる活動

- ・ 構想の検討、人材育成・教育（初期フェーズ）
- ・ 実証（立ち上がりフェーズ）
- ・ エコシステム形成、マネタイズ（成熟フェーズ）

社会実装プロジェクト案

イメージ

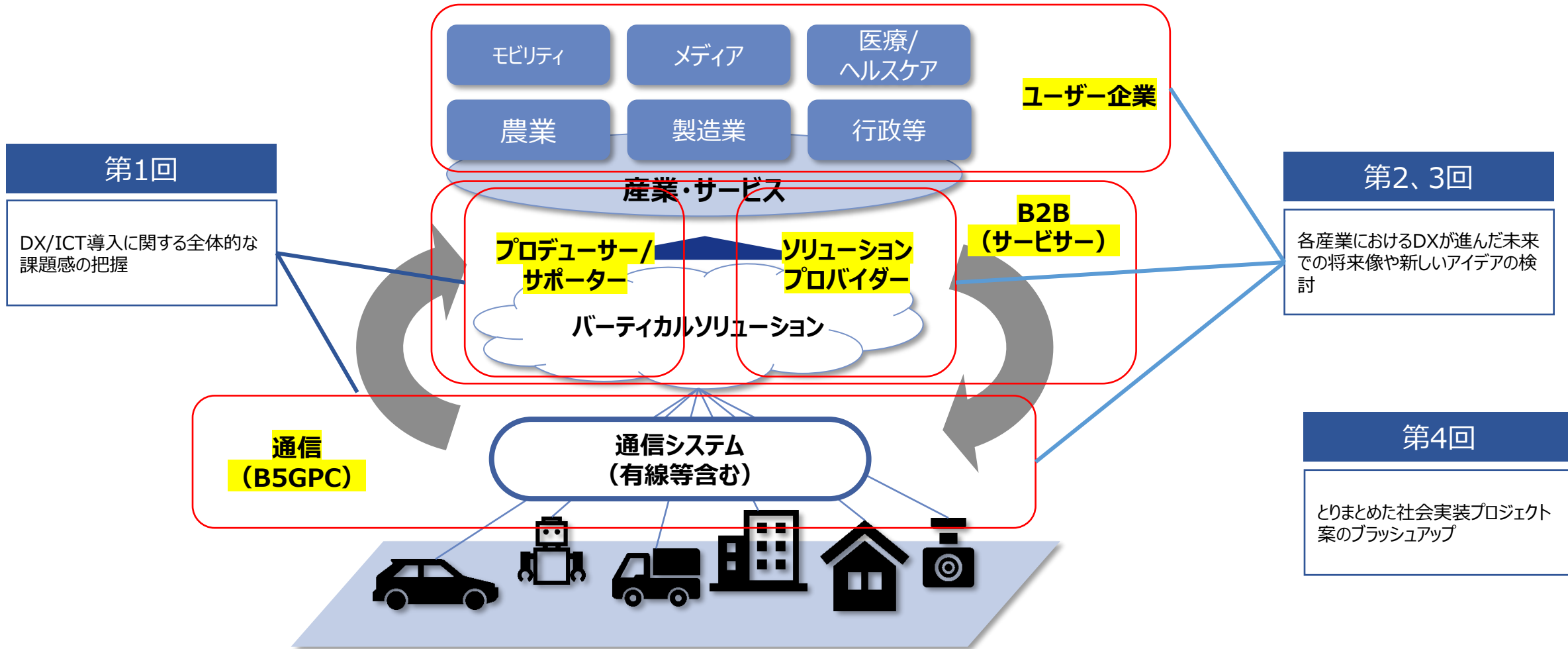


ワークショップのスコープ：通信システムに限らず、各産業における**DXやICT導入に関するトレンドや実態、将来像等**について議論を行う

- 議論を重ねていく中で、5G等の次世代通信システムに対する理解を深め、3者でのビジネスアイデアの発想やビジネス機会の創出を目指す

	現状把握 第1回	将来像検討 第2、3回	社会実装 プロジェクト案 の検討	ブラッシュアップ 第4回
目的	DX/ICT導入に関する実態や課題感の把握	各産業におけるDXが進んだ未来での将来像や新しいアイデアの検討		
議論内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> 今後DXやICTの導入推進が求められると想定される産業や利用シーン プロモーター/サポーター等の立場から見たときに、DX・ICT導入の実態や課題は、どのように見えているか 事業化へのハードルを乗り越えていくために、各プレイヤー3者がそれぞれ/協力して行なうべき取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 業界において特に注力しているDXに関連するテーマやトピックス 通信システムに対する認識やサービス上での位置づけ 通信側の機能的な面での期待値やギャップ どういったテーマ、プロジェクト、支援策、があるとよいか/取り組みやすいか→導入のテーマや喫緊の課題は何か。 この業界は今ICTの導入状況としてどのようなフェーズにあると考えているか 		<ul style="list-style-type: none"> 作成した社会実装プロジェクト案を基に、実装に向けて必要な要素や課題等について深堀検討を行う

- 多様なバックグラウンドを持つ参加者と議論をすることで、通信サイドからは見えづらい産業の実態や思いつかないアイデアや気付きを得る。



- 海外の6Gの推進団体や機関等において言及されているBeyond5G/6G関連のユースケースを参照し、対象とする分野を絞り込み。

発行元	WP	対象分野
Beyond5G推進 コンソーシアム	Beyond 5G ホワイトペーパー ～2030年代へのメッセージ～	金融、建設・不動産、 物流・運輸 、通信・IT、 メディア 、エネルギー・資源・資材、 自働車 、 機械 、電機・精密・半導体、 農業・水産業・食料・生活関連 、小売・卸・流通分野、 サービス・公共サービス・法人サービス（医療、行政・教育） 、飲食業界（外食産業）、娯楽・レジャー、学問（計15分野）
Next G Alliance	6G Roadmap for Vertical Industries	農業、自働車、教育・ゲーム・エンターテインメント、eヘルス、工場 、鉱業、公共安全、 スマートシティ （計8分野）
6G Flagship	Key drivers and research challenges for 6G ubiquitous wireless intelligence	工場、建設、都市開発、物流/輸送、ヘルスケア （計5分野）
Oulu univ.	6G White Paper on Validation and Trials for Verticals towards 2030's	ヘルスケア、工場 、金融/FinTech、Society5.0、 輸送、教育、農業 、エネルギー（計8分野）
ITU-T	Network 2030	モビリティ、ヘルスケア、エンターテインメント、工場、教育 （計5分野）
McKinsey	Connected world: An evolution in connectivity beyond the 5G revolution	ヘルスケア、工場、モビリティ、小売 （計4分野）

**モビリティ（自動車）、医療・ヘルスケア、農業、メディア（エンターテインメント）、製造業、行政（行政DX・スマートシティ）、物流、教育
計8分野※暫定※**

- ユーザー、サービス提供者、通信の3者が共創を進めていくにあたって、実態や課題等について議論を行う

共創の活動の実態（仮説）



【課題設定・背景】

- 産業会や社会に対して、多大な効影響をもたらすものとして期待される中リリースされた5Gであるが、「これぞ5G」といったキラーコンテンツが創出しきれていないのが現状である。
 - 通信キャリアによるオープンイノベーションプログラムや政府の実証事業等も行われているが、**事業化に至るまで、高いハードルがあり、事業化の事例も少ない。**
- ユーザー・サービスサイドの**通信に対する理解・認識**や通信側から見たときの**産業やサービスでの通信の位置づけ・使われ方**等に関して、ギャップが存在しているものと思料。
 - 次世代通信規格の導入の必要性や費用対効果（例：WiFiと5Gの違いや導入のメリット、既存通信システムでの必要十分性等）等

【ディスカッションテーマ】

- **今後DXやICTの導入推進が求められると想定される産業や利用シーン**
 - メディア、機械、自動車、医療等でのDXや5G等の次世代技術の導入の見込み
- **プロモーター/サポーター等の立場から見たときに、DX・ICT導入の実態や課題は、どのように見えているか**
 - DXやICT導入の実態や課題、共通して見られるボトルネック
 - 事業者からの実際の要望
- **事業化へのハードルを乗り越えていくために、各プレイヤー3者がそれぞれ/協力して行なうべき取り組み**
 ※支援者からみた目線※
 - 政府や支援機関等の巻き込み
 - 従来とは異なる新たな事業化モデルの実現

● ご発表：B5GPCビジョン作業班

【Beyond5G推進コンソーシアム白書分科会ビジョン作業班】

- 白書作成の取り組みや全体像の紹介
 - 小西 聡（ビジョン作業班リーダー） KDDI総合研究所
- 産業ユースケースの説明（メディア、機械、自動車、医療）
 - 小崎 成治 三菱電機株式会社（機械）
 - 内野 徹 クアルコムジャパン株式会社（メディア）
 - 栗田 大輔 株式会社NTTドコモ（医療）
 - 朱 厚道 華為技術日本株式会社（自動車）

ワークショップ※	テーマ・議論内容	パネリスト
第1回 10/19 10時～12時 (オープン開催)	DX・ICTの導入支援、プロデュースについて、事業の実態や課題感 <ul style="list-style-type: none"> ・ その中で直面するユーザーの悩みごとや導入が進まない障壁等 ・ 求められる支援策やユーザーへのアプローチ方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社インフォシティ ・ 株式会社ビットメディア ・ TIS 株式会社 ・ 東京都産業技術研究センター ・ 一般社団法人 Govtech協会
第2回 12月頃 (クローズド開催)	各業界におけるDX・ICT導入促進のトレンドや通信の使いどころ、ニーズや課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業界において特に注力しているDXに関連するテーマやトピックス ・ 通信システムに対する認識やサービス上での位置づけ ・ 通信側の機能的な面での期待値やギャップ 	各回、複数の分野（2～3分野、4～5社程度）の方をお呼びし、それぞれの分野の視点でのニーズや課題等についてディスカッションを行う ※各回の対象分野及び出席者は日程調整後、決定予定※
第3回 1月頃 (クローズド開催)	各業界におけるDX・ICT導入促進のトレンドや通信の使いどころ、ニーズや課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業界において特に注力しているDXに関連するテーマやトピックス ・ 通信システムに対する認識やサービス上での位置づけ ・ 通信側の機能的な面での期待値やギャップ 	<div style="border: 1px solid black; background-color: #4a86e8; color: white; padding: 20px; text-align: center;"> <p>参加予定企業については 投影のみ</p> </div> 他、数社と調整中。 + B5GPCメンバー（通信）
第4回 2月頃 (オープン開催)	とりまとめた社会実装プロジェクト案のブラッシュアップ <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した社会実装プロジェクト案を基に、実装に向けて必要な要素や課題等について深堀検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回～3回までにご参加いただいた招聘候補者

※各回の参加可能範囲について（原則）

オープン開催：パネリスト（外部招聘者等）+B5GPC会員全員

クローズド開催：パネリスト（外部招聘者等）+白書分科会ビジョン作業班及び技術作業班、周波数作業班



白書分科会 技術作業班 報告資料およびアカデミアとの連携促進

技術作業班 リーダ・サブリーダー

2023年10月24日

• 記載方針

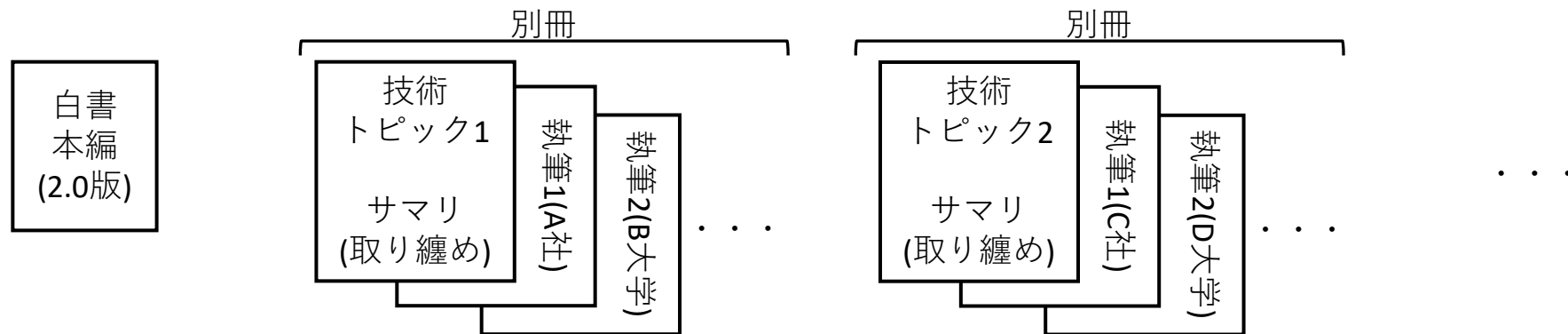
- 現状アーキテクチャの記載については6章において技術の一つとしての記載となっているが、アーキテクチャすべての技術の根本として独立させ、6章の最初に持つてくる。
 - ①作成して頂いた“6.6 ネットワークアーキテクチャ”の章から、対外的に発信していくべきアーキテクチャを6章直下の最初に持ってきて強めのメッセージとして発信する
 - ②技術としてのオーケストレーションや自動化については引き続き6.6章に残す
 - ③個別技術については別冊にて紹介する [オプション]

• ステータス及び今後の進め方の議論

- NEC里田様・NICT石津様には上記の方針について賛同いただき、引き続きサポートを頂く了承を得た。
- ①②については、里田様・石津様・下西にて編集作業を行っていく（大幅な文章の追記は行わない）
- ③については分冊化の議論にマージする
- 以上の方針について、本白書分科会にて合意いただくお願いいたします。

別冊作成方針(案)

- 現在の白書の深堀領域等も含む、日本の技術の強みや注目の高いテーマ等、「日本の売り」となる技術をまとめ、日本国内への情報発信はもとより、**特に海外への宣伝・営業活動、国際標準化への寄与**等に活用するために作成する。
 - B5Gコンソ白書を、各社様・アカデミア様の持つ技術の国際的アピールの場、将来のビジネスへつなげるためのチャンネルとしてご活用いただく。
- 別冊イメージ
 - 技術トピック毎に別冊化。(現時点での技術トピックについては後述スライド参照)
 - トピック取り纏めは産業界から募ることを基本として、アカデミアおよび産業界からの執筆者を募る。
 - 別冊については、執筆者の業績となるように、巻末に記名とさせていただく。著作権は著者に属する。
 - 寄稿・執筆いただく内容は、各社様・アカデミア様が現在推進されているB5G/6G関連技術の研究開発について、学会等で発表されているものをベースに白書向けにアレンジいただくことを想定。極力グラフ等を用いて具体的・定量的な評価結果を載せていただく。
 - 言語は英語を基本とする。英訳が必要な場合は、分科会にて対応可能なため、相談をお願いします。(英訳に時間を要するため、作成線表がタイトになることご了承ください。)
 - 分量は一執筆者あたりA4シングルカラム10.5ptで4-5ページを想定。白書本編と同じページフォーマットを使用。



- 別冊作成方針(案)

- 作成線表想定:

- 10/分科会 寄稿・執筆者決定・執筆開始。
 - 執筆取り纏めの方との打ち合わせを早急に設定。
 - 未定のトピック取り纏めを早急に決定する。
 - 寄稿・執筆者については継続して募集。
 - NICT/総務省委託研究の参加者への声掛け
 - RISING2023にてアカデミアへの声掛け
 - 1/分科会 ドラフト完・レビュー開始
 - 2/分科会 作成完・発行作業へ (年度末発行)

- 別冊の名前案: **Enabling Technologies on (別冊名)**

- 他候補: Annex, Technical Report, Technical Studies, Technical Analysis

(敬称略)

別冊候補	取り纏め	寄稿・執筆者
Cell-Free・Distributed MIMO	KDDI 菅野	KDDI 菅野 富士通 山口 NTTドコモ 須山 ・分散MIMO技術 NEC 村岡 ・ミリ波帯の分散MIMO向け技術(RoF、スケジューリング、受信処理、移動予測制御、等)
高周波数帯無線技術	富士通 作本	KDDI 伊藤智 NTTドコモ 須山 ・高周波数帯（サブテラヘルツ帯）デバイス技術 ・高周波数帯（サブテラヘルツ帯）無線アクセス技術 NTTドコモ 久野伸晃 ・高周波数帯（サブテラヘルツ帯）電波伝搬技術 （主に屋内における時間的特性または空間的特性の解析結果） NTT山田 ・高周波数帯（サブテラヘルツ帯）電波伝搬技術 HUAWEI 輿水 富士通 山口 ・テラヘルツ波を用いたビーム制御（国プロ成果） NEC村岡 ・(NTTドコモ/富士通と共同SubTHz国プロ成果)
無線中継・反射板技術	(NTTドコモ 須山)	NTTドコモ 須山

※取り纏め、および執筆者の方々への共有サーバー登録済み

(敬称略)

別冊候補	取り纏め	寄稿・執筆者
E2Eアーキテクチャ	NICT 石津、東	KDDI 新保宏之 NTT 松本 HUAWEI 輿水 NEC 里田 ・自律運用（アーキテクチャのコンテキスト） 阪大 下西
AI/ML	NEC 高橋	京都工繊 山本先生 HUAWEI 輿水 NEC 高橋 ・自律運用（AI活用のコンテキスト） ・RAN自動最適化（アプリケーションQoSアウェア）
センシング	(ドコモ or NTT?)	阪大 猿渡先生 HUAWEI 輿水 (NICT?)
Energy efficiency・Sustainability	ノキア 高橋	ノキア 高橋
NTN技術	(NTTドコモ 須山)	NTTドコモ 須山 ソフトバンク 西村
その他		NTTアクセスサービスシステム研究所 内田 (9/29NTTドコモ須山様メールに含まれる認識) NTTドコモ 須山 ・閉域NW環境のための（産業利用向け）無線通信技術 ・高速伝搬シミュレーション技術

※取り纏め、および執筆者の方々への共有サーバー登録済み

- 日時場所

- 10月30日 13:00-15:00 @札幌かでる
- RISING2023は10/30-10/31の2日間開催
<https://www.ieice.org/cs/rising/jpn/2023/index.html>

- パネルタイトル(案)

- B5G推進フォーラム白書分科会連携パネル “Beyond 5G/6Gの実現に向けた産学共創”

- パネル趣旨(案)

- Beyond5G/6Gの実現に向けてはBeyond 5G推進コンソーシアム等に白書が広く公開され、その目指す姿が明らかになりつつあり、また関連する技術開発も活発に行われている。本パネルでは、Beyond 5G推進コンソーシアム白書分科会より公開中のBeyond 5G白書の内容を紹介するとともに、アカデミア側からは最新の研究開発動向について紹介し、パネル討論においてはBeyond 5G/6Gの実現に向けた産学共創について議論する。

• 進行

- 13:00-13:05 シンポジウムの趣旨の説明 中尾先生
- 13:05-13:25 B5G白書 作本様
- 13:25-13:45 AI/ML 山本先生
- 13:45-15:05 センシング 猿渡先生
- 15:05-15:25 高周波数帯 岡田先生
- 15:25-15:00 パネル討論 中尾先生(モデレータ)、山本先生(学側)、猿渡先生(学側)、岡田先生(学側)、作本様(産側)、下西(産側として)

• おねがい

- RISING2023にご参加いただき、本パネルセッションの討論にご参加いただければ幸いです

- 日時場所
 - 2024年1月24日 午後13時～17時予定
 - 大阪大学 銀杏会館（吹田キャンパス）、およびZoomウェビナーを予定
- タイトル(案)
 - Beyond 5G/6G社会の実現に向けた革新的技術開発～
- シンポジウム趣旨(案)
 - Beyond5G/6G社会の実現に向けてはBeyond 5G推進コンソーシアム等に白書が公開されその目指す姿は明らかになりつつあり、またその技術開発に向けてはローカル5Gを活用した研究開発も盛んに進められている。本シンポジウムで、このような目指すべき姿を共有するとともに、その実現に向けたアカデミアからの貢献のあり方について議論する。
- 開催
 - 主催：大阪大学
 - 協賛：Beyond 5G推進コンソーシアム
 - 企画・運営：大阪大学先導的学際研究機構DX社会研究部門

・プログラム案（まだ非公開）

タイムテーブル		時間	司会：共創機構 プログラム	中澤 忠輝（なかざわ ただてる） 所属	役職	氏名
13:00	13:05	0:05	開会の挨拶	先導的学際研究機構 DX社会研究部門 大学院情報科学研究科	部門長 研究科長・教授	原 隆浩
13:05	13:35	0:30	基調講演1	Beyond 5G推進コンソーシアム 白書分科会 株式会社NTTドコモ	主査 Chief Standardization Officer	中村 武宏
13:35	13:55	0:20	研究紹介① ローカル5G	大学院情報科学研究科	准教授	荒川 伸一
13:55	14:15	0:20	研究紹介② サブテラヘルツ通信	大学院基礎工学研究科	教授	永妻 忠夫
14:15	14:30	0:15	休憩			
14:30	14:50	0:20	研究紹介③ サステナブルICT	サイバーメディアセンター	教授	下西 英之
14:50	15:10	0:20	研究紹介④ ヒューマンデジタルツイン	大学院情報科学研究科	教授	村田 正幸
15:10	15:30	0:20	研究紹介⑤ 自己主権型コントラクト	大学院情報科学研究科	特任研究員	落合 涉悟
15:30	15:40	0:10	休憩(パネルディスカッション配置)			
15:40	16:10	0:30	基調講演2	Beyond 5G推進コンソーシアム 白書分科会 株式会社 KDDI総合研究所	ビジョン作業班 リーダ 取締役 執行役員 副所長	小西 聡
16:10	16:55	0:45	パネルディスカッション	モデレーター：村田先生 （質疑応答はパネルディスカッション で対応）	パネラー：講演者	
16:55	17:00	0:05	閉会のご挨拶	大学院情報科学研究科	教授	村田 正幸



白書分科会 周波数作業班資料（第9回）

周波数作業班リーダー

2023年10月24日

- 6.1.3.1章「周波数資源の利活用動向」の内容更新
 - APG23-6会合の結果
 - WRC-23の結果
- 7 – 15GHz帯の国内利用状況の調査
 - 公開情報を利用して、利用状況を確認する。
 - IMTとして利用、既存業務との共用の可能性を考察。
- 周波数共用技術について考察を追記。

- 公開情報を利用して、利用状況を確認する。
 - 使用する公開情報は4ページ目を参照。
 - 公開情報を確認して、5ページ目のExcelシートをアップデートする。

- 利用状況を確認した後、IMTとして利用、既存業務との共用の可能性を考察する。

周波数利用状況公開情報（一例）

1) 「周波数割当計画」（pdf形式、令和5年6月1日現在）

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/adm/freq/search/share/plan.htm>

2) 使用状況の詳細（令和5年3月1日現在）

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/adm/freq/search/myuse/use/index.htm>

<http://www.tele.soumu.go.jp/resource/search/myuse/use/ika.pdf>

3) 「周波数再編アクションプラン（令和4年版）」の公表（令和4年11月21日）

[総務省 | 報道資料 | 周波数再編アクションプラン（令和4年度版）の公表 \(soumu.go.jp\)](#)

4) 令和3年度電波の利用状況調査の評価結果及び意見募集の結果の公表（令和4年7月15日）

[総務省 | 報道資料 | 令和3年度電波の利用状況調査の評価結果及び意見募集の結果の公表 \(soumu.go.jp\)](#)

別紙2（令和3年度電波の利用状況調査の評価結果、714MHz 超の周波数帯）

https://www.soumu.go.jp/main_content/000825527.pdf

別紙3（令和3年度電波の利用状況調査の評価結果の概要）

https://www.soumu.go.jp/main_content/000825528.pdf

5) これまでの電波利用状況の調査結果および評価結果

[総務省 電波利用ホームページ | 免許関係 | 電波の利用状況調査の調査結果及び評価結果 \(soumu.go.jp\)](#)

➤ 各社様の担当および作業状況

	帯域	担当社	作業状況
1)	7125 MHz – 8500 MHz	DOCOMO, Qualcomm	
2)	8500 MHz – 10 GHz	Ericsson	
3)	10 GHz – 11.7 GHz	Nokia, ARIB	
4)-1	11.7 GHz – 12.75 GHz	スカパーJSAT	
4)-2	12.75 GHz – 14 GHz	Huawei	
5)	14 GHz – 15.4 GHz	KDDI	

- 利用状況の結果をもとに、各帯域（もしくは特定の帯域）を評価して、白書の内容とする。
- 評価方法の提案
 - 利用状況およびWRC-23の結果を考慮して、IMTとしての可能性の高い帯域を取り上げる。
 - その帯域について、利用状況、移動業務への割当有無、連続した広帯域の可能性、他国の支持状況等の情報を追記して、評価とする。

- 1 はじめに
- 2 周波数資源の利活用動向
(現在の白書6.1.3.1章を更新する、APG23-6、WRC-23の結果を反映)
- 3 7 – 15GHz帯の国内利用状況と評価
- 4 周波数共用技術
- 5 まとめ



⑤ 今後の予定 白書分科会の会合予定（年内）

会合	開催日時（基本）	
白書分科会（ビジョン作業班と技術作業班の合同開催）	毎月1回 第4火曜日 15時-18時	白書分科会と合同開催
ビジョン作業班	毎月1回 第4火曜日 15時-18時の一部	
技術作業班	毎月1回 第4火曜日 15時-18時の一部	
周波数作業班	毎月1回 第4火曜日 15時-18時の一部	

日付	時間	白書分科会	ビジョン作業班	技術作業班	周波数作業班	備考
8/29(火)	15:00-17:00	第23回	第35回	第26回	第9回	
9/14 (木)	15:30-17:00	企画・戦略委員会 第1回				
9/26 (火)	15:00-17:00	第24回	第36回	第27回	第10回	
10/24 (火)	15:00-17:00	第25回	第37回	第28回	第11回	本日
11/28 (火)	15:00-17:00	第26回	第38回	第29回	第12回	WRCと重複するため調整中
12/26 (火)	15:00-17:00	第27回	第39回	第30回	第13回	予定

閉会

ご参加ありがとうございました。